鹿追町：多様なエネルギーの循環とレジリエンス強化、環境価値の向上による地方創生モデル「MIRAI COUNTRY」の提唱

環境省

脱炭素先行地域の対象：**役場周辺エリア、瓜幕エリア、然別湖エリア、エネルギー供給エリア、公共施設群等**
主なエネルギー需要家：役場周辺エリア10施設(自営線)、瓜幕エリア6施設(自営線)、然別湖エリア3施設、町内全公共施設323施設

取組の全体像

公共施設を主体に町民サービスによる行動変容を図る①役場周辺エリア、脱炭素等による交流拠点となる②瓜幕エリア、地域振興の拠点となる③然別湖エリア、再生可能エネルギーをつくり町内に届ける④エネルギー供給エリアの、4つのエリアで**太陽光やバイオガスプラント**等の設備導入を集中して行うとともに、⑤公共施設群においては、オンサイトに加え、**地域新電力を介して町内の再エネ由来電気を供給**することで、脱炭素化に取り組む。

1．民生部門の脱炭素化に関する主な取組

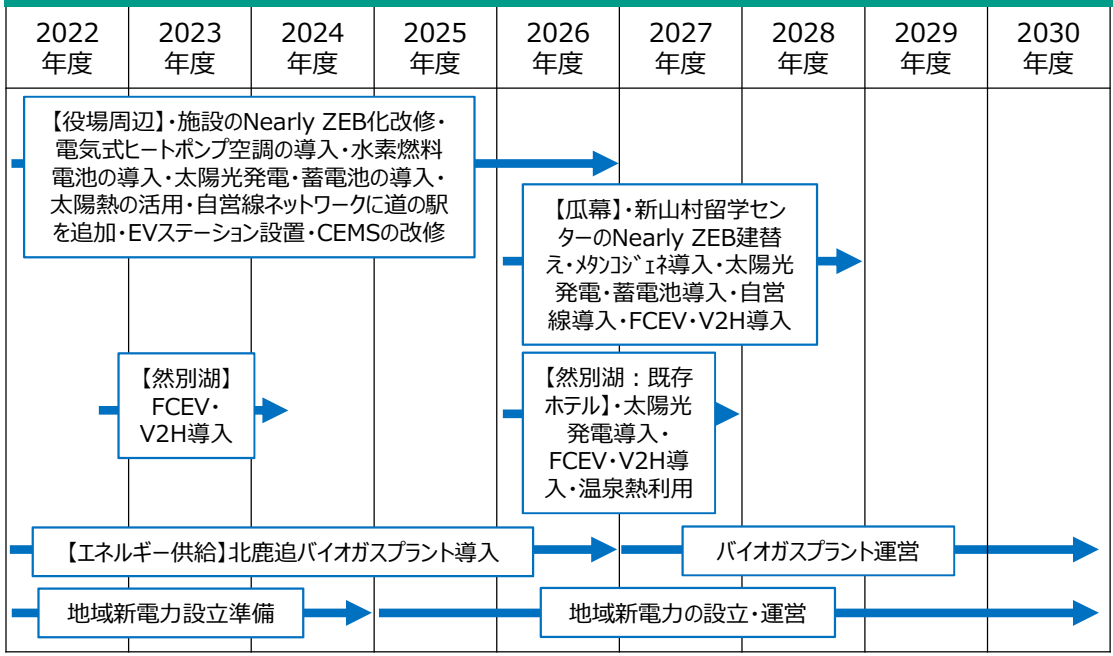
① **【役場周辺エリア】**主要公共施設を結ぶ**自営線ネットワーク**（太陽光440kW）に新たに道の駅と太陽光発電・蓄電池・水素燃料電池・EVステーション等を導入
② **【瓜幕エリア】**山村留学受入拠点等の施設群に、**自営線**・太陽光30kW・蓄電池・**メタンコジェネ**10kW、FCEV・V2Hを導入し、集落のレジエンスを強化
③ **【然別湖エリア】**国立公園内の2つのホテルと観光拠点に太陽光20kW、FCEV・V2Hを導入し、**ゼロカーボンパーク**化の達成を目指す
④ **【エネルギー供給エリア】北鹿追バイオガスプラント1,500kWを新たに導入**
⑤ **【公共施設群】**①②③のエリアに加え、**その他全公共施設323施設**に対しても、オンサイトに加え、**地域新電力を介して町内の再エネ由来電気を供給**

中鹿追バイオガスプラント

2．民生部門以外の脱炭素化に関する主な取組

① 中鹿追バイオガスプラントで製造した**水素**をカードルに充填・トラックで役場周辺エリアまで運搬・水素燃料電池に供給し、通常時に加え非常時にも電力・熱供給を可能とする
② 公用車(20台)やバス(2台)を**FCEV、EV**化するとともに、**V2H**(10カ所)を公民館や公的施設等に設置して災害時の電力供給を可能にする

3．取組により期待される主な効果

① 畜産ふん尿の処理過程で得られる**バイオガスを利用**して町の脱炭素化を図ることにより、**農業の持続的な成長**・臭気や水質等の良好な**生活環境確保・エネルギー自給率向上**と**防災対策**を推進
② 地域新電力を介した再エネ電力の供給により、電力の地産地消・域外への**エネルギー資金の流出抑制・新規雇用の創出**を推進
③ 公共施設に再生可能エネルギーを導入・一定エリアに自営線ネットワークを構築等することにより、非常時のエネルギーを確保し、レジリエンスを強化

4．主な取組のスケジュール